



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月3日

上場会社名 北越メタル株式会社  
 コード番号 5446 URL <http://www.hokume.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 棚橋 章  
 (氏名) 武仲 康剛

TEL 0258-24-5111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	21,417	31.8	△301	—	△242	—	△194	—
2021年3月期第3四半期	16,252	△4.7	717	△26.7	760	△25.6	814	29.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △94百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 832百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△50.72	—
2021年3月期第3四半期	212.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,470	16,060	58.5
2021年3月期	26,615	16,172	60.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 16,060百万円 2021年3月期 16,172百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	5.00	30.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	28.3	△500	—	△400	—	△400	—	△104.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	3,994,000 株	2021年3月期	3,994,000 株
2022年3月期3Q	154,238 株	2021年3月期	157,960 株
2022年3月期3Q	3,839,068 株	2021年3月期3Q	3,835,218 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、2022年3月期の配当予想につきましては、当社を取り巻く経営環境が依然として不透明なため、引き続き未定とさせていただきます、今後の業績動向を勘案した上で改めて公表いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染者数が一時的に減少したものの、企業活動や個人消費は大きく制限を受けました。足下では、新たな変異株による国内感染者急増への警戒感が高まっており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの関連業界におきましては、国内の建設需要が全般的に低調に推移したなか、製品販売価格の引き上げおよび異形棒鋼輸出など販売数量の確保に努めてまいりました。また、コスト面におきましては、各種原単位の低減などに努めてまいりましたが、高値で推移していた主原料である鉄スクラップ価格が、第3四半期に入り更に高騰したことに加え、原油価格をはじめとした各種エネルギー価格の上昇により、大幅なコストアップを余儀なくされ、厳しい事業環境となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は21,417百万円（前年同四半期比31.8%増）、経常損失は242百万円（前年同四半期は760百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は194百万円（前年同四半期は814百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ854百万円増加して、27,470百万円となりました。

これは主に、売上高増加により電子記録債権が前連結会計年度末に比べ1,116百万円増加したことによるものであります。

#### ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ966百万円増加して、11,410百万円となりました。

これは主に、鉄スクラップ価格上昇や諸資材高騰により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比2,164百万円の増加）したことで、流動負債が前連結会計年度末に比べ1,265百万円増加して、8,399百万円になったことによるものであります。

#### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ111百万円減少して、16,060百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失△194百万円の計上などにより、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ217百万円減少して、12,533百万円になったことによるものであります。

また、自己資本比率については、前連結会計年度末の60.8%から2.3ポイント減少して、当第3四半期連結会計期間末には58.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（2021年11月8日）から修正しております。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,190,500	2,982,220
受取手形及び売掛金	2,077,719	2,177,833
電子記録債権	3,037,711	4,154,513
商品及び製品	2,201,979	3,156,313
仕掛品	373,913	83,722
原材料及び貯蔵品	1,445,130	1,789,628
未収還付法人税等	49,763	83,028
その他	291,042	200,520
貸倒引当金	△7,478	△8,537
流動資産合計	15,660,282	14,619,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,733,888	10,017,358
減価償却累計額	△7,021,086	△7,190,643
建物及び構築物(純額)	2,712,801	2,826,715
機械装置及び運搬具	23,200,121	23,714,943
減価償却累計額	△18,816,788	△19,181,090
機械装置及び運搬具(純額)	4,383,332	4,533,853
工具、器具及び備品	2,375,018	2,396,240
減価償却累計額	△1,919,760	△1,960,769
工具、器具及び備品(純額)	455,258	435,471
土地	1,824,759	1,821,113
リース資産	11,370	6,906
減価償却累計額	△7,976	△910
リース資産(純額)	3,394	5,995
建設仮勘定	160,490	166,837
有形固定資産合計	9,540,036	9,789,986
無形固定資産		
ソフトウェア	13,639	18,889
その他	4,058	3,959
無形固定資産合計	17,698	22,848
投資その他の資産		
投資有価証券	1,074,640	1,260,579
繰延税金資産	248,961	313,600
その他	78,104	1,467,392
貸倒引当金	△3,752	△3,225
投資その他の資産合計	1,397,953	3,038,347
固定資産合計	10,955,688	12,851,182
資産合計	26,615,970	27,470,425

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,989,352	6,153,651
電子記録債務	620,071	825,015
短期借入金	450,084	450,084
未払法人税等	60,545	31,514
賞与引当金	—	48,090
環境対策引当金	5,443	3,098
その他	2,008,951	888,472
流動負債合計	7,134,448	8,399,927
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	2,162,339	1,824,776
執行役員退職慰労引当金	13,440	16,738
役員株式給付引当金	16,950	13,113
従業員株式給付引当金	—	10,233
環境対策引当金	798	—
退職給付に係る負債	918,788	944,774
資産除去債務	21,159	21,323
その他	76,045	79,425
固定負債合計	3,309,521	3,010,383
負債合計	10,443,969	11,410,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,969,269	1,969,269
資本剰余金	1,441,113	1,441,113
利益剰余金	12,750,641	12,533,559
自己株式	△177,688	△172,469
株主資本合計	15,983,335	15,771,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193,881	293,553
退職給付に係る調整累計額	△5,215	△4,911
その他の包括利益累計額合計	188,665	288,641
純資産合計	16,172,001	16,060,114
負債純資産合計	26,615,970	27,470,425

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	16,252,827	21,417,090
売上原価	13,349,038	19,521,973
売上総利益	2,903,788	1,895,117
販売費及び一般管理費	2,185,907	2,196,404
営業利益又は営業損失(△)	717,881	△301,287
営業外収益		
受取利息及び配当金	43,863	42,704
その他	14,726	29,359
営業外収益合計	58,589	72,063
営業外費用		
支払利息	8,808	9,267
設備賃貸費用	3,193	3,167
支払補償費	503	—
貸倒引当金繰入額	2,232	—
その他	1,324	1,115
営業外費用合計	16,062	13,550
経常利益又は経常損失(△)	760,407	△242,773
特別利益		
固定資産売却益	2,237	15
負ののれん発生益	344,312	—
投資有価証券売却益	3,362	—
保険解約返戻金	—	33,630
満期保険金	—	2,080
受取保険金	—	35,650
特別利益合計	349,911	71,375
特別損失		
固定資産売却損	—	171
減損損失	2,794	3,645
固定資産除却損	18,260	5,551
ゴルフ会員権評価損	1,500	—
環境対策費	—	38,231
環境対策引当金繰入額	—	2,300
支払補償費	—	35,325
事業構造改革費用	2,465	—
特別損失合計	25,021	85,224
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,085,298	△256,622
法人税等	270,840	△61,903
四半期純利益又は四半期純損失(△)	814,458	△194,718
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	814,458	△194,718

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	814,458	△194,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,553	99,671
退職給付に係る調整額	—	303
その他の包括利益合計	17,553	99,975
四半期包括利益	832,011	△94,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	832,011	△94,742
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、当社グループの国外輸出販売において従来、製品の出荷時点をもって収益を認識しておりましたが、顧客と合意した地点に製品が到着した時点で、履行義務が充足されたと判断し収益を認識するよう変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は145,561千円、売上原価は143,623千円それぞれ減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は1,938千円それぞれ増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は16,884千円増加しております。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。